

「前回の東京五輪に倣っての10月開催はなぜ採用されないのですか？」

平成30年8月1日

●コロンさんからの質問

次回の東京五輪の猛暑対策に開始時間を早めるやサマータイムなどを導入するなどの意見があります。前回の東京五輪に倣って秋の10月に開催すれば、そんなことをせずにはすべて解決するはずですが、なぜそのような提案が採用されないのでしょうか。放送利権を優先して、選手や観客、スタッフなどを命の危険に晒す流れが理解できません。

●西田昌司の答え

私もコロンさんに全く同感です。

アスリートが全力を発揮できるよう、本来は10月や11月に開催すべきです。しかし、国際オリンピック委員会（IOC）が高い放映権料を獲得できる、というスポーツとは全く関係のない理由から、一年で最も暑い時期の開催になってしまったらしいのです。オリンピックの視聴者が多い国としてアメリカが挙げられますが、そのアメリカにおいて秋に様々なスポーツの興行があり、それら興行とオリンピックが重なってしまうとオリンピックの視聴率が下がってしまうといった話のようですが、全く馬鹿げていると思います。

今年は大変な猛暑ですが、東京五輪の際も大変な猛暑となることが予想されます。猛暑対策のためにサマータイムの導入が検討されていたりもしますが、選手や観客に事故がないよう細心の注意を払わなければなりません。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>